

特集

# 鼓童文化財団研修所二〇〇五



佐渡の自然と多くの島民の方々に、教えられ支えられてきた鼓童は、太鼓を軸とした生活創造のできる人材を、共に鍛え学び育てる研修の場を持たないものだろうかとの長い間願ってきました。

1986年から佐渡・北田野浦での6年間、大小での4年間の試行錯誤のきびしい体験のあと、柿野浦の方々の想いの込められた岩首中学校の旧校舎に移ることが出来たのは幸せなことでした。校舎の壁に残る教えの言葉「求め・敬い・磨く」は、正に鼓童の研修に対する思想そのものでした。

太鼓や舞台芸術の技術訓練だけでなく、各人の個性を生かしつつ、マラソン等による体力作り、稲作・畑仕事から自然を体験し、地の恵みを尊ぶ心を知り、調理をはじめ日常生活のすべてを自分の手で行う、自立した社会人としての個人へ

の生活訓練と、研修の力は広がってきました。そして今年、柿野浦の研修所は10年（2年制になって9年）の節目を迎えることとなりました。

佐渡に本拠を置かせていただいている鼓童は、佐渡の自然と人と伝統すべてを、学びの師として研修したいと、これからも模索をくり返してゆくことでしょう。

この研修所での体験は、変化する社会の価値観と、個人の生き方の質の変化などに対応するための智恵くらべの10年でした。

これまでの経験の上に、新たな想いを抱いて、実りのある次なる10年への確実な一歩を踏み出す為に、更なる努力を重ねる覚悟で居ります。

鼓童文化財団 理事長 島崎信